

三井物産健康保険組合 第135回組合会

- 令和7年2月19日（水）11：00～
- WEB会議システムを利用した開催

Agenda

1. 報告事項

- ・ 報告第1号 組合会議員 交代の件
- ・ 報告第2号 理事長専決事項報告の件
- ・ 報告第3号 令和6年度事業計画遂行状況報告の件

2. 審議事項

- ・ 議案第1号 令和7年度事業計画並びに収入支出予算の件
- ・ 議案第2号 令和7年度調整保険料率変更に伴う
一般保険料率変更の件
- ・ 議案第3号 令和7年度介護保険料率変更の件
- ・ 議案第4号 組合規程・変更/制定/廃止の件

1. 報告事項

- 報告第1号 組合会議員 交代の件
- 報告第2号 理事長専決事項報告の件
- 報告第3号 令和6年度事業計画遂行状況報告の件

報告第1号 組合会議員 交代の件

所属：令和7年2月1日現在

	旧	新		
	氏名	氏名	所属	議員就任日 (理事/監事就任日)
選定議員	奥村 美穂	許 淑恵	三井物産(株)	令和6年8月1日
選定議員	沖 孝昭	佐藤 香織	三井物産(株)	令和6年8月1日

※任期：令和9年5月31日まで

報告第2号 理事長専決事項報告の件

[専決内容]

・嘱託に関する規程

- ⇒①第3条(休暇)及び第4条(休職)について、引用条項の修正
- ②第9条(非常勤嘱託に関する事項)について、新たに条文追加

上記のとおり、理事長専決処分を行ったことをご報告いたします。
詳細につきましては、報告第2号資料をご参照ください。

報告第3号 令和6年度事業計画遂行状況報告の件

①特定健診実施状況

R4実施率:88.2%→R5実施率:88.4% (ほぼ横ばい)

※R6も被扶養者への受診勧奨等を実施

②特定保健指導実施状況

R4実施率:34.2%→R5実施率:46.5% (実施率UP)

※R6も参加率向上施策として以下を継続実施

- ・対象者宛の通知に診療所長からのコメントを掲載
- ・三井物産対象者宛のは、健康管理室と連名にて発出
- ・特定保健指導実施業者を1社追加(海外赴任者も指導実施可能)

③高血糖・重症化予防プログラム 策定

解析能力深化の為、10月より診療所勤務の長尾医師を健保非常勤職員として起用。レセプト解析とドック健診データを組み合わせた、高血糖リスク者向けの重症化予防プログラム策定。R7年予算でトライアル実施予定

報告第3号 令和6年度事業計画遂行状況報告の件

④マイナ保険証対応

・R6. 12. 2より新規保険証交付廃止

・新規加入者のうち、マイナ保険証未登録者に関してはR7. 12有効期限の資格確認書(紙・ハガキサイズ)を交付

【参考:マイナ保険証登録率、利用率(R7. 1. 16時点)】

登録率:53. 77%(加入者数:15, 197 登録数:8, 171)

利用率:18. 56%(外来レセ件数:15, 846 オンライン資格利用人数:2, 941)

※全国平均利用率:23. 21%

⑤人間ドック契約健診機関でのキャンペーン実施

・三井物産(株)における人間ドック受診は12月までの受診が必須(国内勤務者のみ)

・年度初め(4月・5月)は人間ドック健診機関の閑散期に該当

・年度初めの受診勧奨の一環として、一部契約健診機関にてキャンペーンを実施

(例:オプション検査無料サービス、ギフト券贈呈 等)

・R7年度より三井物産(株)では12月までの期限に加え、原則、契約健診機関での受診に限定

・早期受診および契約健診機関での受診勧奨のため、R7年度も引き続きキャンペーンを実施予定

報告第3号 令和6年度事業計画遂行状況報告の件

⑥有料版FiNCアプリの提供終了

- ・組合員のヘルスリテラシー向上を目的とし平成30年よりFiNCアプリを導入
- ・年間コスト330万円、MAU・97名に留まる
- ・有料版アプリの特徴である「健診結果の閲覧」について、三井物産(株)社員は社内イントラで閲覧可&40歳以上については国が提供しているマイナポータル上で特定健診結果を閲覧できる
- ・コンテンツの多くは無料版アプリでも利用可能
⇒有料版アプリの契約を継続するメリットがほぼ見当たらない為、本年度で契約を終了
今後は健康管理だけではなく、手続き申請などでもできる総合的なアプリの導入を検討

⑦柔道整復師関連調査

- ・例年通り、長期・頻回受診の方に柔整医療費通知と整骨院の正しいかかり方に関するリーフレットを送付
- ・初回受診の方に柔整の正しいかかり方に関するリーフレットを送付

報告第3号 令和6年度事業計画遂行状況報告の件

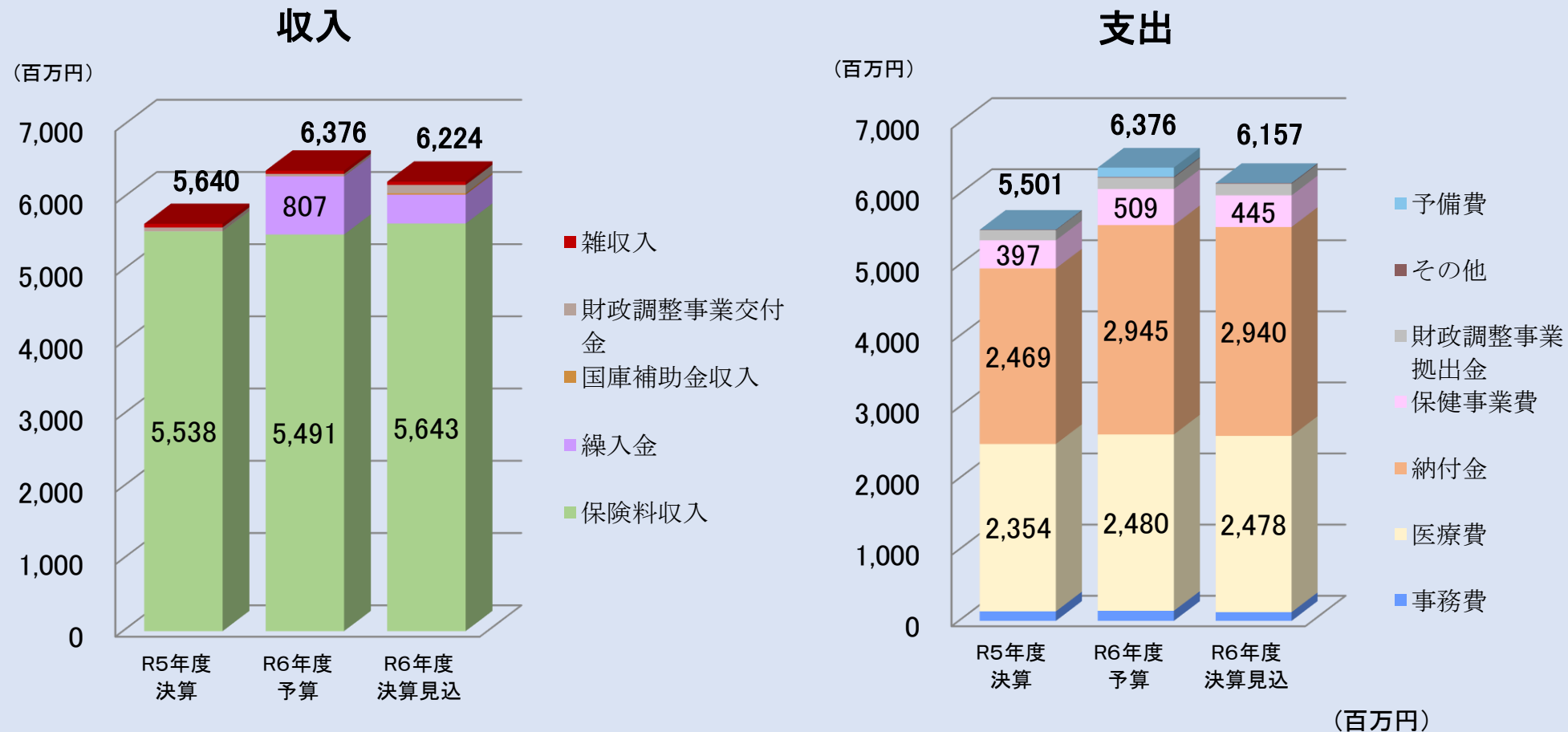
⑧サイバーセキュリティコンサルティング

- ・MBSD社に委託
- ・前回2022年度のCSB調査の結果をもとにヒアリング、現地調査などを実施
- ・当組合のほか、基幹システムベンダー/UBS社やHP運営会社/保健同人にもヒアリング実施
- ・成果物として課題と対策一覧を受領
- ・対策「要」とされた事項につき、基幹ベンダー協力の下、来期順次対応予定。

令和6年度 予算・決算見込み対比 【一般勘定】 特に指定ない場合、金額単位：百万円

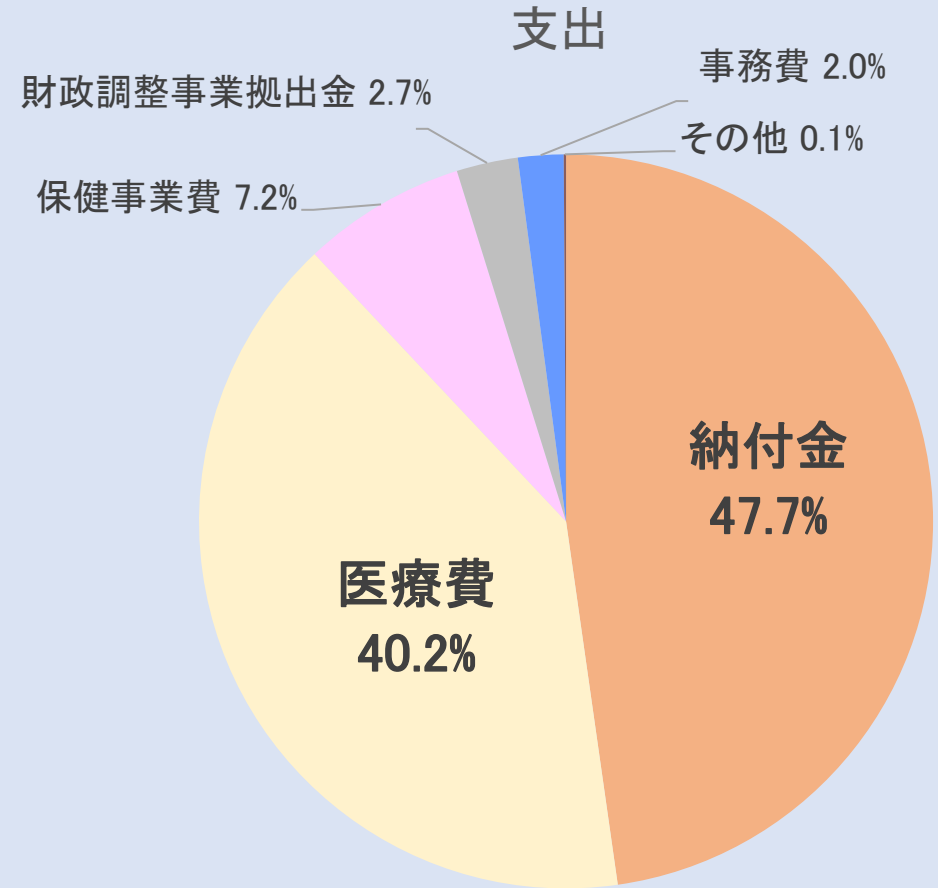
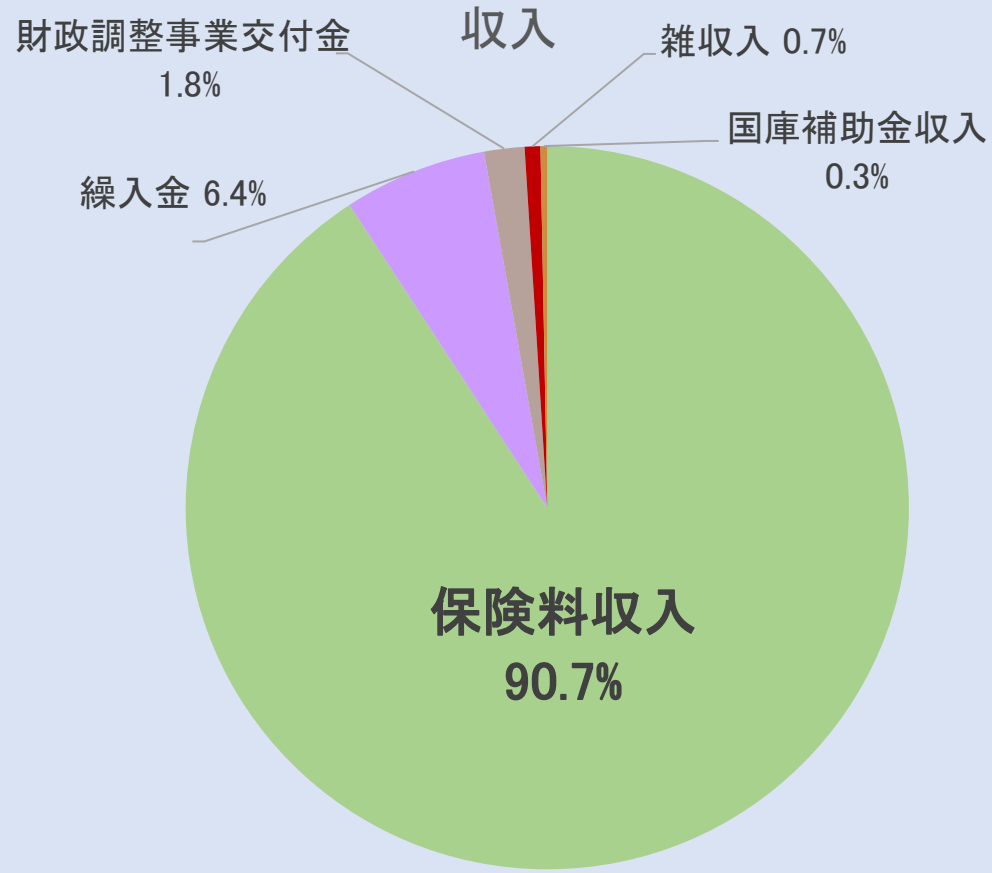
【一般勘定】	R5決算	R6予算	R6見込	見込-予算	予算対比・備考
被保険者数（人/年間平均）	7,566	7,583	7,647	64	被保険者数/微増
平均標準報酬月額（円）	679,214	671,777	687,856	16,079	月額/増
総標準賞与額（百万円/年）	31,443	31,297	32,149	852	賞与/増
保険料率（‰）	60.00	60.00	60.00	—	—
保険料収入（調整除く）	5,394	5,330	5,477	147	被保険者・月額・賞与/増
繰入金	5	807	400	▲407	4億円繰入予定 ※予算は8億円計上
その他収入	240	239	347	108	—
○収入合計	5,640	6,376	6,224	▲152	保険料収入/増、4億円繰入予定
医療費	2,354	2,480	2,478	▲2	家族の医療費/減
納付金	2,469	2,945	2,940	▲5	後期高齢者納付金/減
保健事業費	397	509	445	▲64	健診費用/減
その他の支出	281	310	294	▲16	—
○支出合計	5,501	6,244	6,157	▲87	保健事業費/減
◎収支差引額	139	132※	67	▲65	※予備費
法定準備金	1,274	n/a	1,274	—	R6年度末・積立予定なし
別途積立金	6,230	n/a	5,897	—	R6年度末見込（4億円繰り入れた場合） 収支差引67百万積立予定

令和6年度 予算・決算見込収支概況【一般勘定】



	収入	支出	収支差引額
R6予算	6,376	6,244	※予備費 132
R6決算見込	6,224	6,157	67

令和6年度 決算見込構成比【一般勘定】



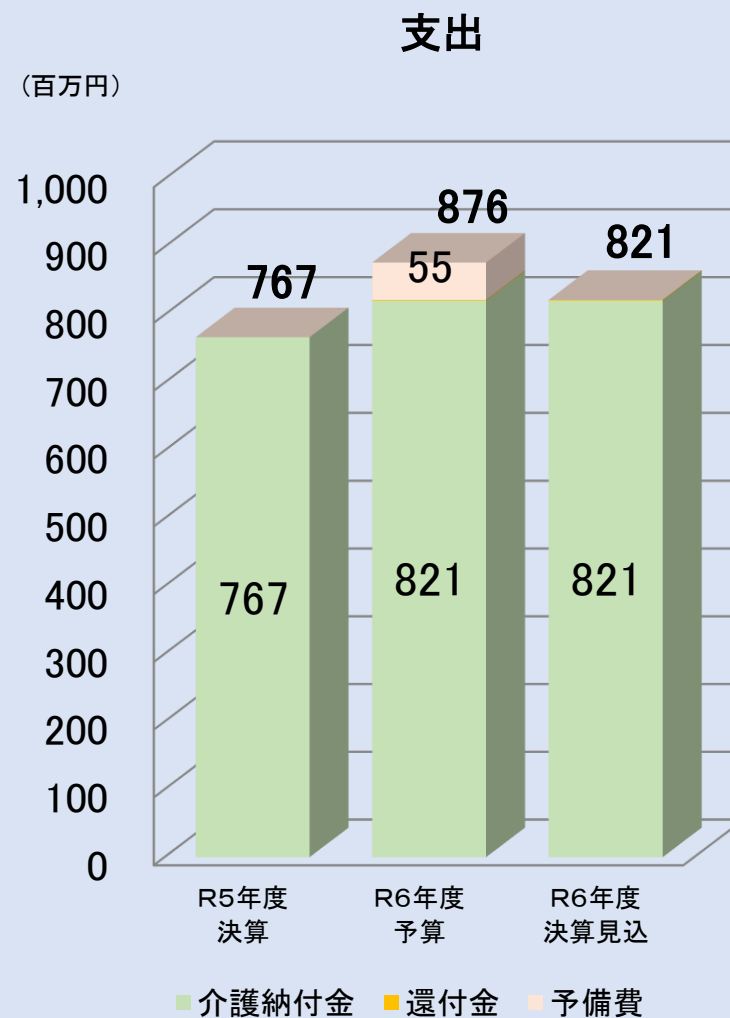
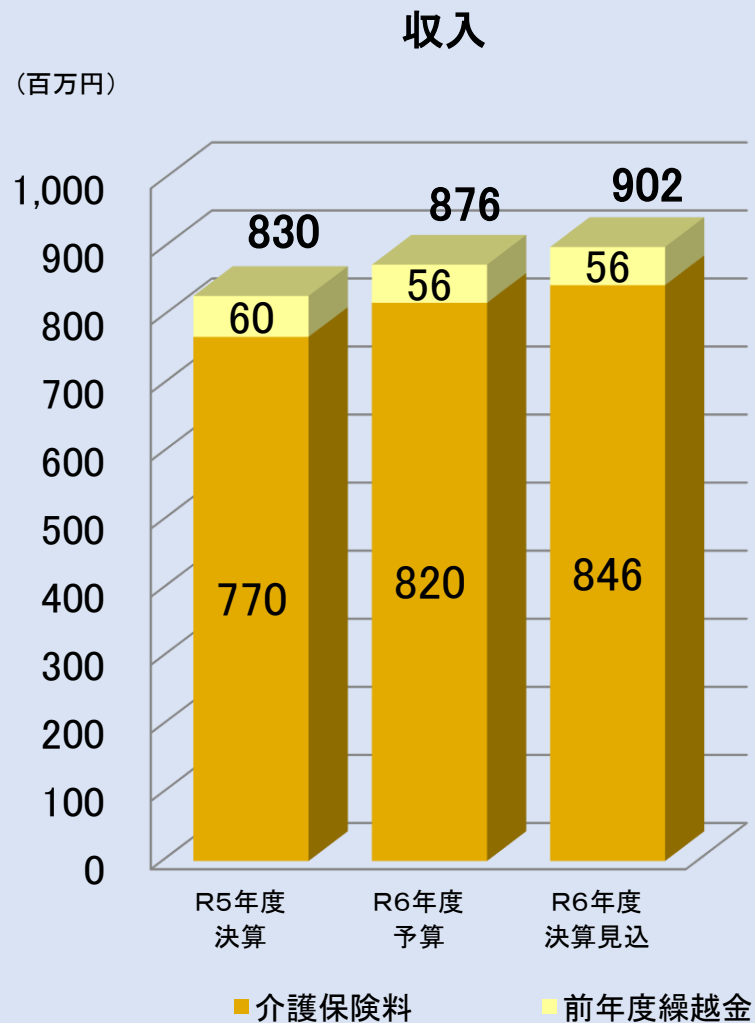
注) 端数処理の関係で、合計が100%とならない場合があります。

令和6年度 予算・決算見込み対比 【介護勘定】

特に指定ない場合、金額単位：百万円

【介護勘定】	R5決算	R6予算	R6見込	見込-予算	予算対比・備考
被保険者数（人/年間平均）	3,775	3,771	3,796	25	被保険者数/微増
平均標準報酬月額（円）	711,168	707,683	727,357	19,674	月額/増
総標準賞与額（百万円/年）	15,348	15,253	15,606	353	賞与/増
保険料率（‰）	16.20	17.40	17.40	—	—
介護保険料収入	770	820	846	25	被保険者数・月額・賞与/増
繰越金他	60	56	56	0	予算通り
○収入合計	830	876	902	25	介護保険料収入/増
介護納付金	767	821	821	0	予算通り
○支出合計	767	821	821	0	〃
◎収支差引額	62	55※	80	25	※予備費
介護準備金	83	n/a	83	—	R6年度末・積立予定なし

令和6年度 決算見込収支概況【介護勘定】



2. 審議事項

- ・議案第1号 令和7年度事業計画並びに収入支出予算の件
- ・議案第2号 令和7年度調整保険料率変更に伴う
一般保険料率変更の件
- ・議案第3号 令和7年度介護保険料率変更の件
- ・議案第4号 組合規程・変更/制定/廃止の件

議案第1号 令和7年度 事業計画並びに収入支出予算の件

事業計画(一般勘定)説明のポイント

1. 健保を取り巻く環境変化
2. 予算
3. 高血糖重症化予防トライアルプログラム

健保を取り巻く環境変化

1. 医療費増加

- ・ 医療報酬・治療薬の高額化

2. 納付金増加

- ・ 前期高齢者納付金の総収入割計算導入⇒報酬連動で増加
- ・ 団塊世代後期高齢化に伴う医療費増加⇒後期高齢者支援金増加

3. 納付金新設

- ・ こども未来戦略方針対応⇒児童手当納付金導入予定
- ・ 流行初期医療確保拠出金の名目予算設定指示あり

4. 政府DX対応

- ・ マイナンバー保険証他、政府DX対応のコスト

5. 年収の壁支援強化対応

- ・ 現状健保制度への影響は未定だが適用あれば現場負荷は高いと想定される)

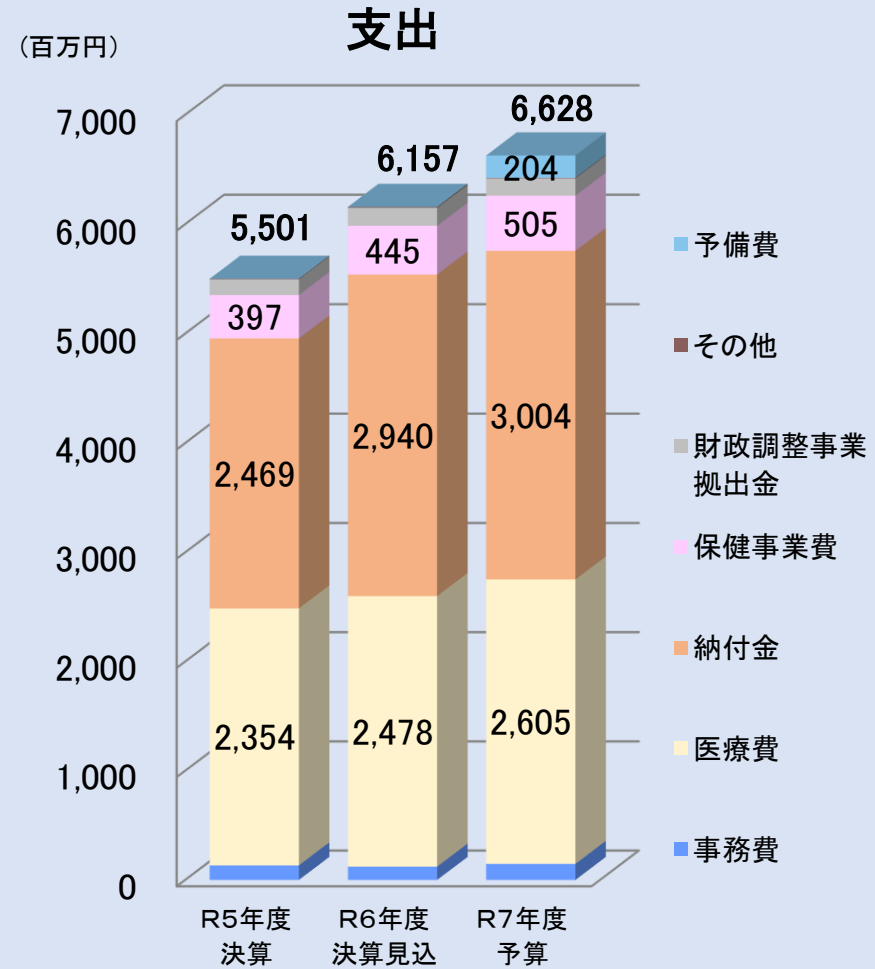
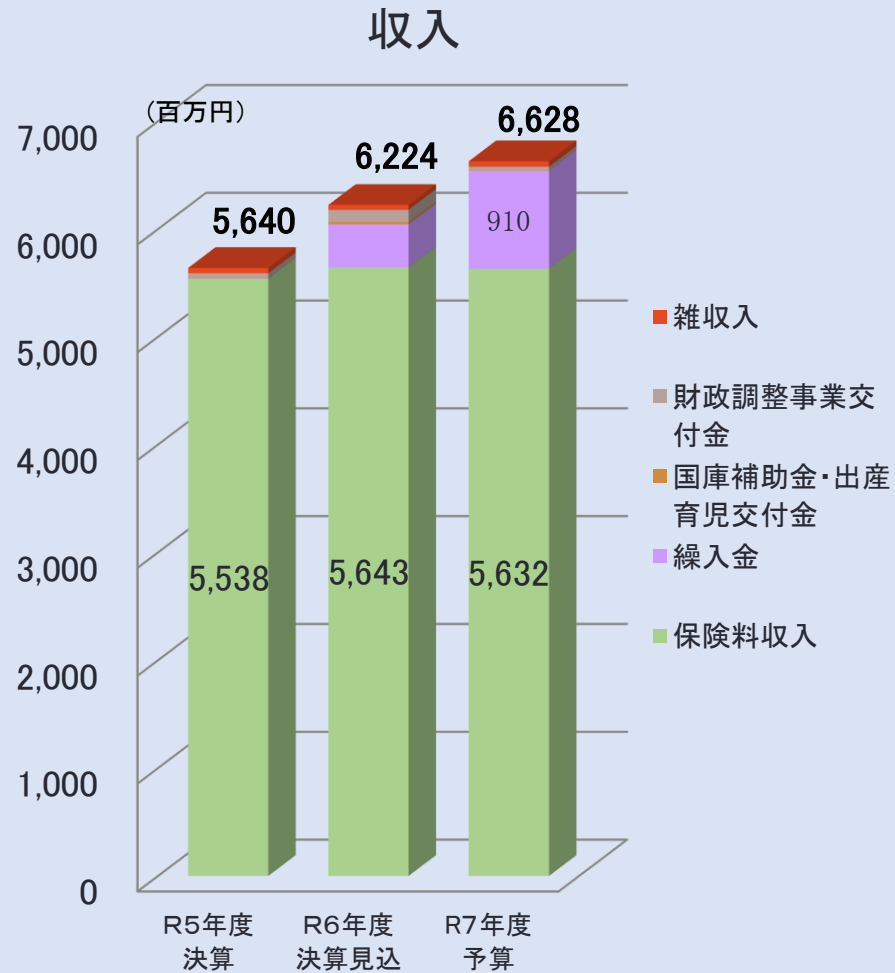
⇒ 今後も支出は増える方向にあり

令和7年度予算概況【一般勘定】

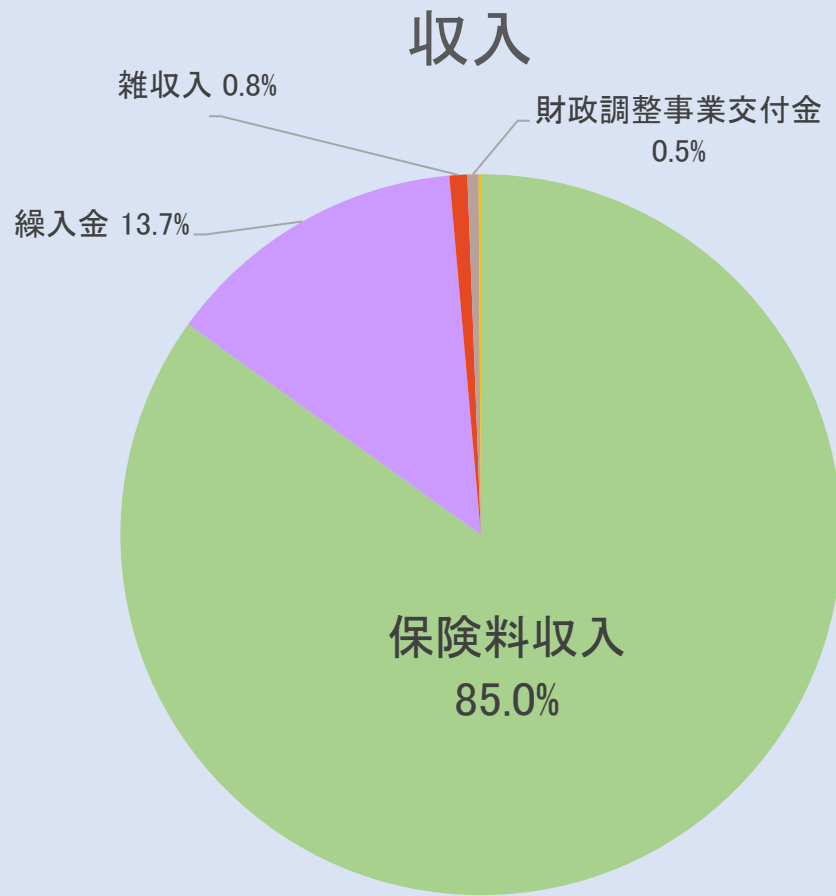
特に指定ない場合、金額単位：百万円

【一般勘定】	R5決算	R6予算	R6見込	R7予算	R7予算-R6見込	備考
被保険者数（人/年間平均）	7,566	7,583	7,647	7,693	46	被保険者数・微増
平均標準報酬月額（円）	679,214	671,777	687,856	685,412	▲2,444	月額・減
総標準賞与額（百万円/年）	31,443	31,297	32,149	31,553	▲596	賞与・減
保険料率（‰）	60.00	60.00	60.00	60.00	－	－
保険料収入（調整除く）	5,394	5,330	5,477	5,473	▲4	月額・賞与/減
繰入金	5	807	400	910	510	別積9億円繰入予定
その他収入	240	239	347	245	▲102	－
○収入合計	5,640	6,376	6,224	6,628	404	9億円繰入予定
医療費	2,354	2,480	2,478	2,605	127	本人・家族/増
納付金	2,469	2,945	2,940	3,004	64	前期/増
保健事業費	397	509	445	505	60	人間ドック費用/増
その他の支出	281	310	294	310	16	－
○支出合計	5,501	6,244	6,157	6,425	268	医療費・納付金/増
◎収支差引額	139	132※	67	204※	137	※予備費
法定準備金	1,274	n/a	1,274	n/a	－	基準の2倍保有
別途積立金	6,230	n/a	5,897	n/a	－	－

令和7年度予算概況 【一般勘定】

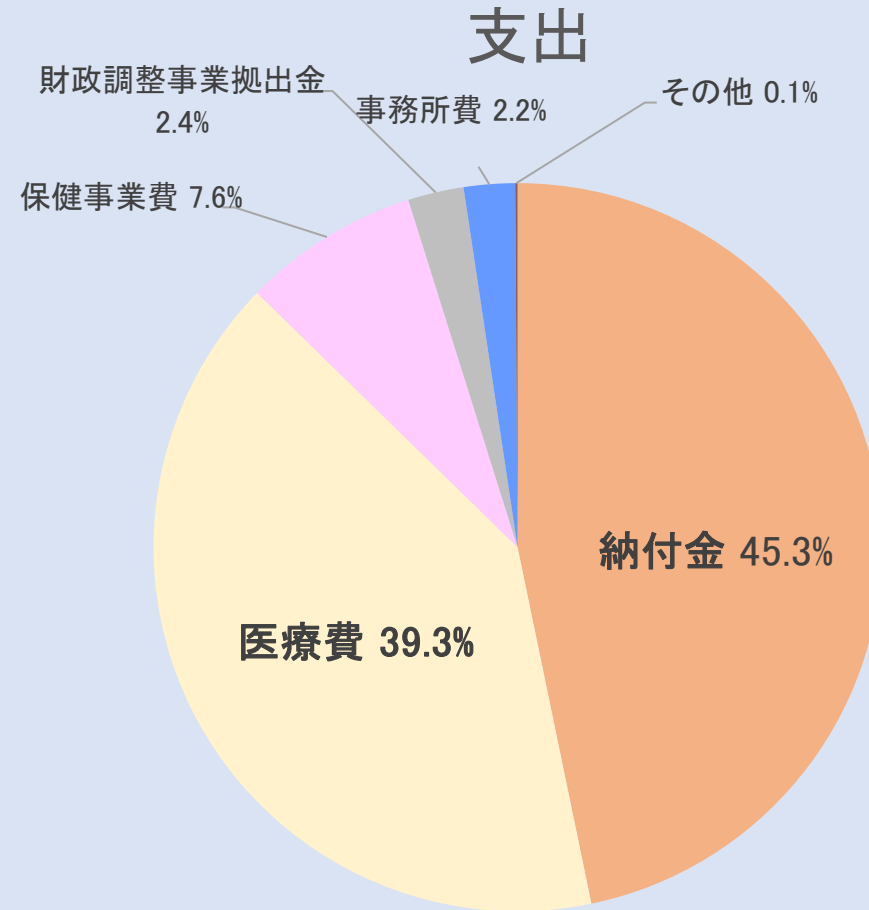


令和7年度予算構成比 【一般勘定】



【総額: 6,628百万円】

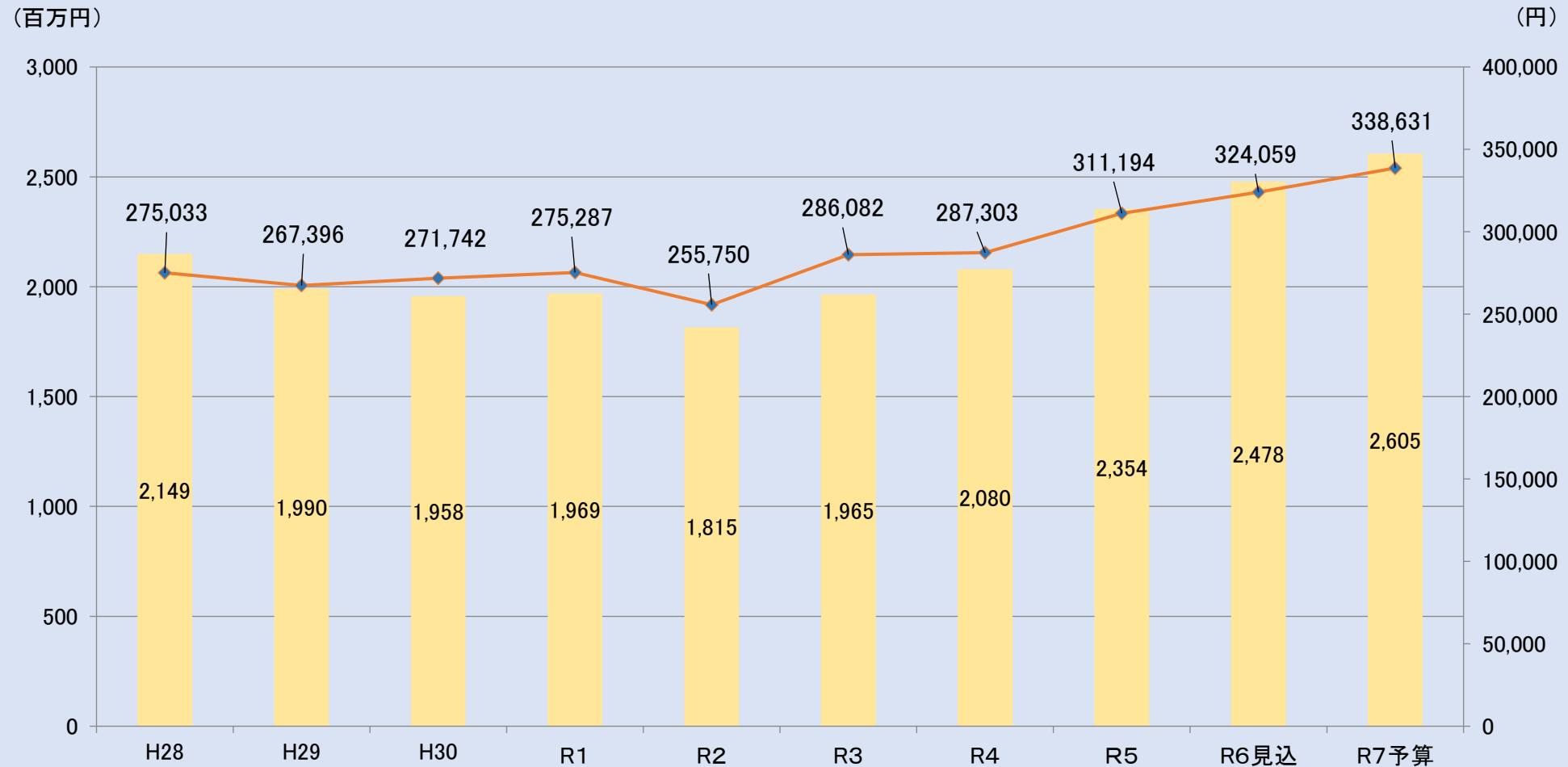
※端数処理の関係で、合計が100%とならない場合があります



【総額: 6,425百万円】

※予備費 204百万円除く

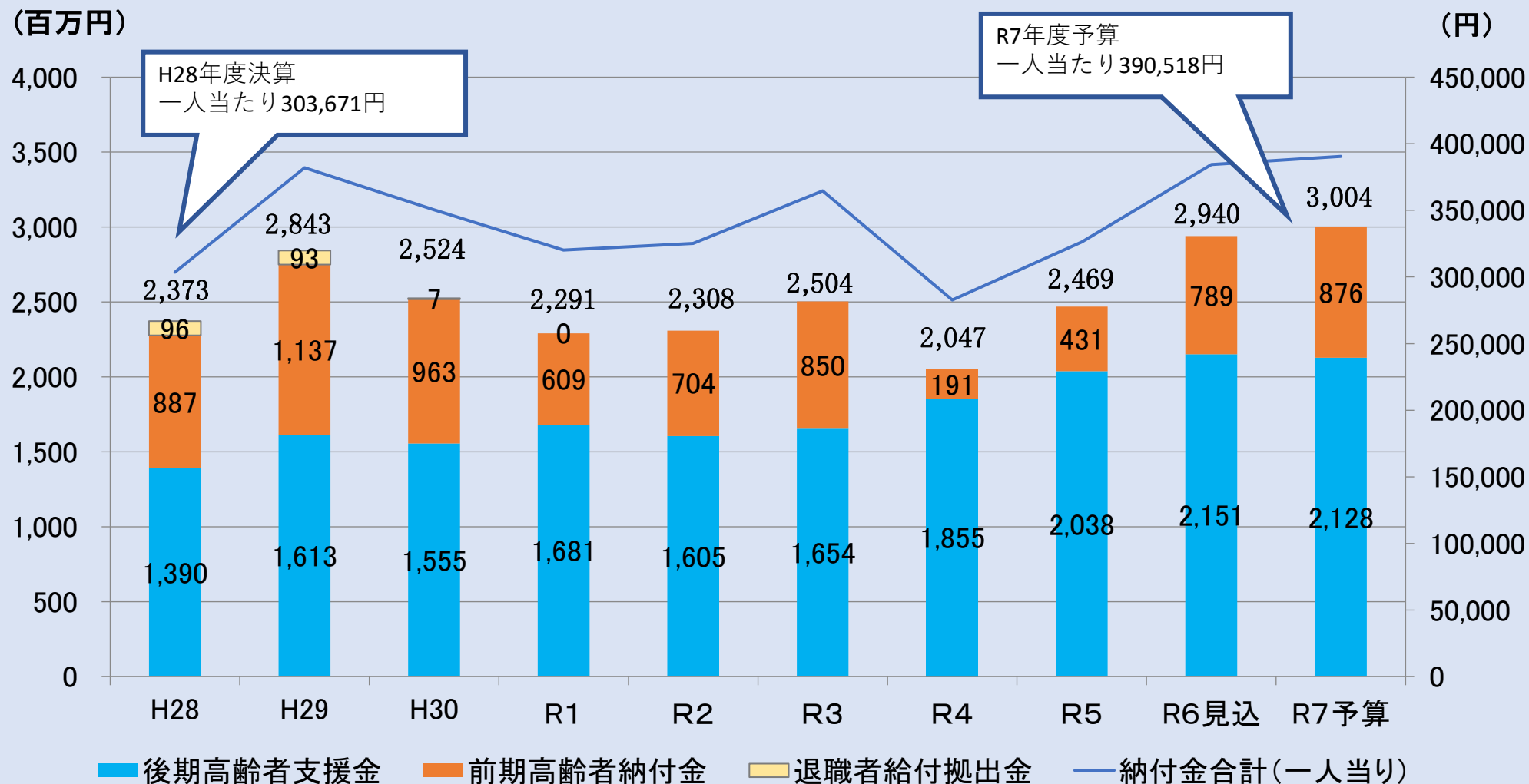
医療費推移（平成28年度～令和7年度）



・縦棒グラフ: 医療費総額

・折線グラフ: 一人当たり医療費

納付金推移（平成28年度～令和7年度）



※棒グラフ上数値は納付金総額を表している

参考 納付金推移とそのしくみ

【前期高齢者納付金】

◎ 前期高齢者の加入者偏りによる不均衡を是正するため、当健保は前期高齢者医療費の約15倍を納付（下記①+②）。

$$\text{計算式：①前期高齢者納付金} = \text{当健保の前期高齢者医療費} \times \frac{\text{全国の前期加入率（15\%強）}}{\text{当健保の前期加入率（1\%弱）}} \times 2/3 - \text{当健保の前期高齢者医療費}$$

$$\text{②当健保の報酬総額} \times \text{総報酬割負担率（国が示す係数）} \times 1/3 \text{（R6より導入）}$$

項目（百万円）	R3	R4	R5	R6	R7予算	R6予算 - R5
①概算支払額	888	495	528(b)	559	696	137
②確定額（2年後）	791	725	706(a)	(2年後確定)	(2年後確定)	-
③清算額（②-①）	▲38	▲304	▲97	230	178(b-a)	-52
合計（①+③）	850	191	431	789	876	87
（参考）	R3	R4	R5	R6	R7予算	
前期高齢者医療費（百万円）	42	39	36	35	34	
前期高齢者数（人）	121	117	135	107	125	
前期高齢者一人当たり医療費（円）	345,698	330,734	267,229	327,009	275,161	

【後期高齢者支援金】

◎ 後期高齢者の医療費約18.4兆円の内、5.4兆円を被用者保険の加入者7,678万人にて負担

◎ 当健保の被保険者の標準報酬総額見込みに国の概算負担率を乗じた額(全面総報酬割)

$$\text{計算式：後期高齢者支援金} = \text{当健保の報酬総額} \times \frac{\text{総報酬割負担率（2.325\%）}}{\text{（国が示す係数）}}$$

※令和6年度賦課ベース/健保連資料より

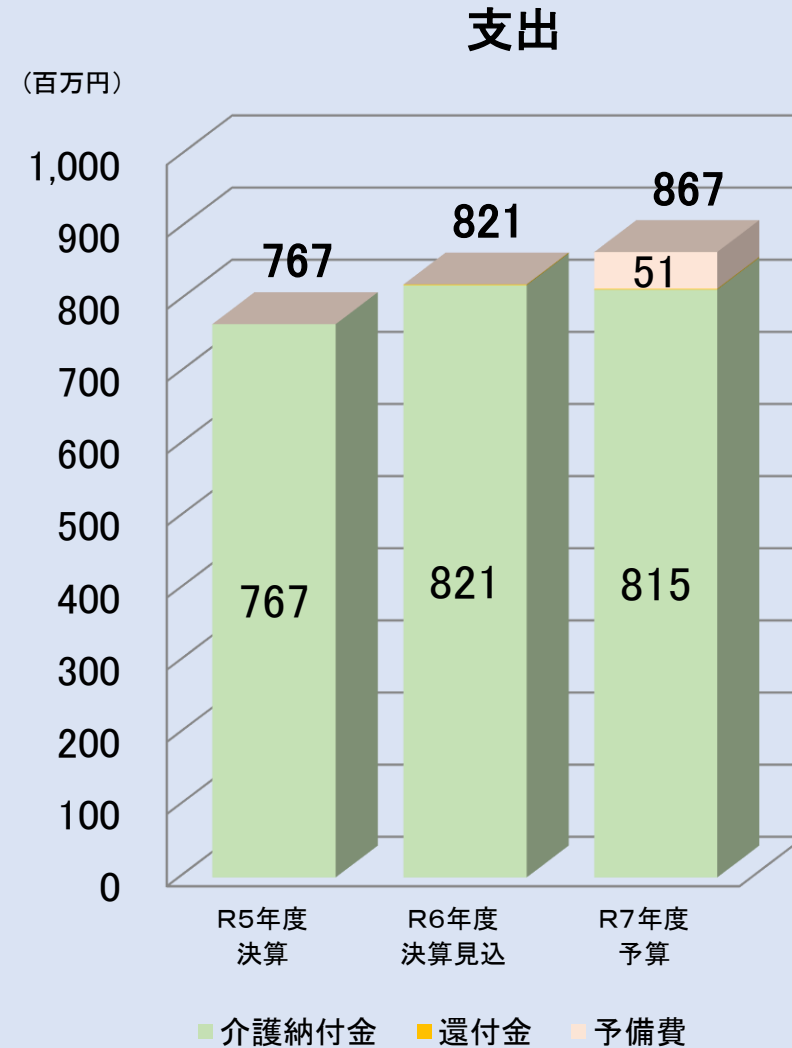
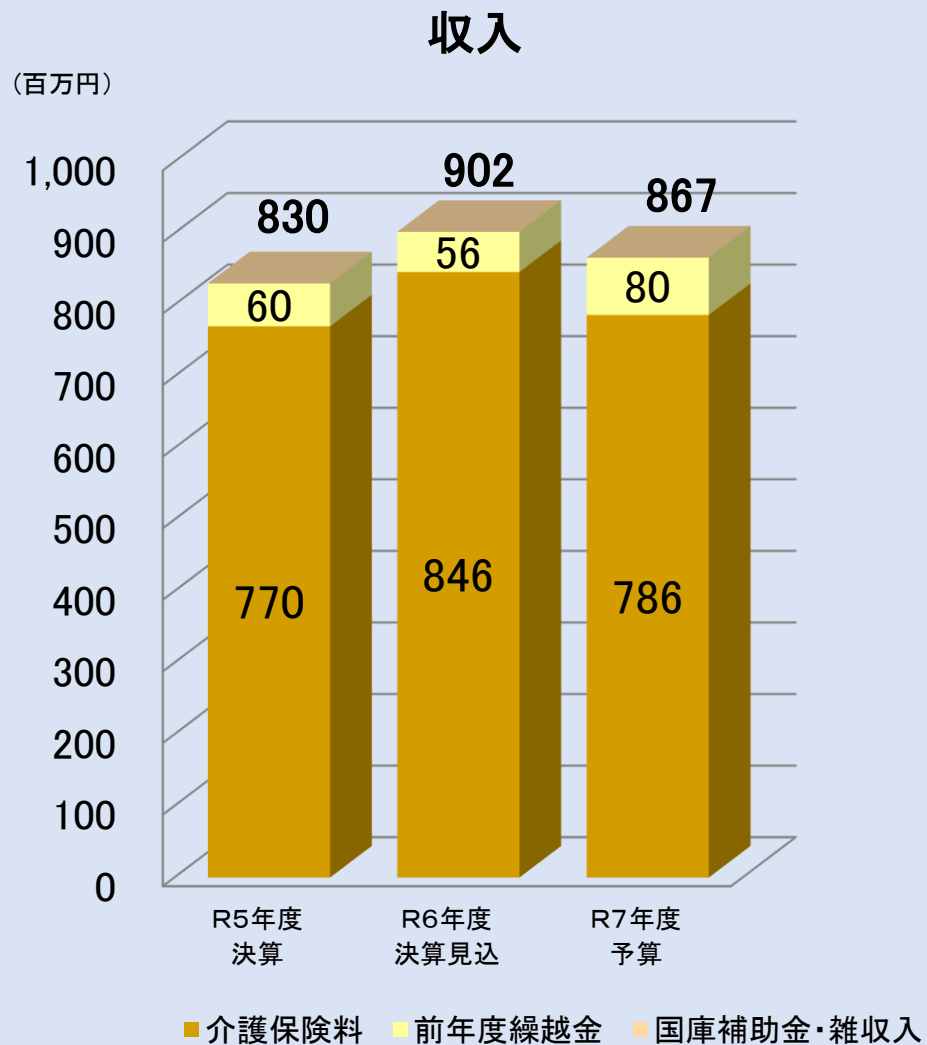
項目（百万円）	R3	R4	R5	R6	R7予算	R6予算 - R5
①概算支払額	1,716	1,909	2,107(b)	2,128	2,149	22
②確定額（2年後）	1,647	1,932	2,086(a)	(2年後確定)	(2年後確定)	-
③清算額（②-①）	▲62	▲54	▲69	23(b-a)	▲21(b-a)	44
合計（①+③）	1,654	1,855	2,038	2,151	2,128	22

令和7年度予算概況 【介護勘定】

特に指定ない場合、金額単位：百万円

【介護勘定】	R5決算	R6予算	R6見込	R7予算	R7予算-R6見込	見込対比・備考
被保険者数（人/年間平均）	3,775	3,771	3,796	3,837	41	人数・微増
平均標準報酬月額（円）	711,168	707,683	727,357	732,058	4,701	月額・増
総標準賞与額（百万円/年）	15,348	15,253	15,606	15,583	▲23	賞与・減
保険料率（‰）	16.20	17.40	17.40	16.00	▲1.40	料率・引き下げ
介護保険料収入	770	820	846	786	▲60	料率・引き下げ
繰越金他	60	56	56	80	24	繰越金・増
○収入合計	830	876	902	867	▲35	料率引き下げに伴う収入・減
介護納付金	767	821	821	815	▲6	納付金・減
○支出合計	767	821	821	816	▲5	〃
◎収支差引額	62	55※	80	51※	▲29	※予備費
介護準備金	83	n/a	83	n/a	—	R6見込・積立予定なし

令和7年度予算概況【介護勘定】



参考 介護納付金推移とそのしくみ

【介護納付金】

- ◎ 介護費用13.2兆円の内2.9兆円を被用者保険で負担
- ◎ 介護保険は市区町村が運営。健保は加入する40歳以上の被保険者に関わる介護保険料の徴収を代行(全面総報酬割)

計算式：介護納付金 = 当健保の報酬総額 × 総報酬割負担率1.966%

※令和6年度賦課ベース/健保連資料より

項目 (百万円)	R3	R4	R5	R6	R7予算	R7予算 - R6
①概算支払額	862	854	882(a)	919	927	8
②確定額 (2年後)	747	756	770(b)	(2年後確定)	(2年後確定)	-
③清算額 (②-①)	▲69	▲59	▲115	▲98	▲112(b-a)	-14
合計 (①+③)	793	795	767	821	815	-6

注) 海外勤務者は適用除外。

参考 被保険者一人当たり介護納付金と介護保険料率推移 (平成28年度～令和7年度)



高血糖・重症化予防トライアル・プログラム

I. 問題意識

- 糖尿病や耐糖能異常でみられる慢性的な高血糖状態は、全身の血管や多臓器の障害を引き起こし、脳梗塞、心筋梗塞、腎不全、失明といった重篤な疾病の原因となりうる
- 物産には糖尿病リスク高い者多く、5 商社比でも劣後している
- 三井物産社員の1人当たり年間医療費で見ると糖尿疾患保有者の平均医療費は未患者の約2倍※となっている
- 高血糖は重症化するまで自覚症状に乏しく、健診での指摘や受診勧奨にも関わらず、受療行動につながりにくい
- 肥満が原因となる例は多いが、非肥満の痩せ型でも高血糖を指摘された例が一定数存在している。非肥満では、健保による保健指導の対象にならないことから、意識づけは更に難しい

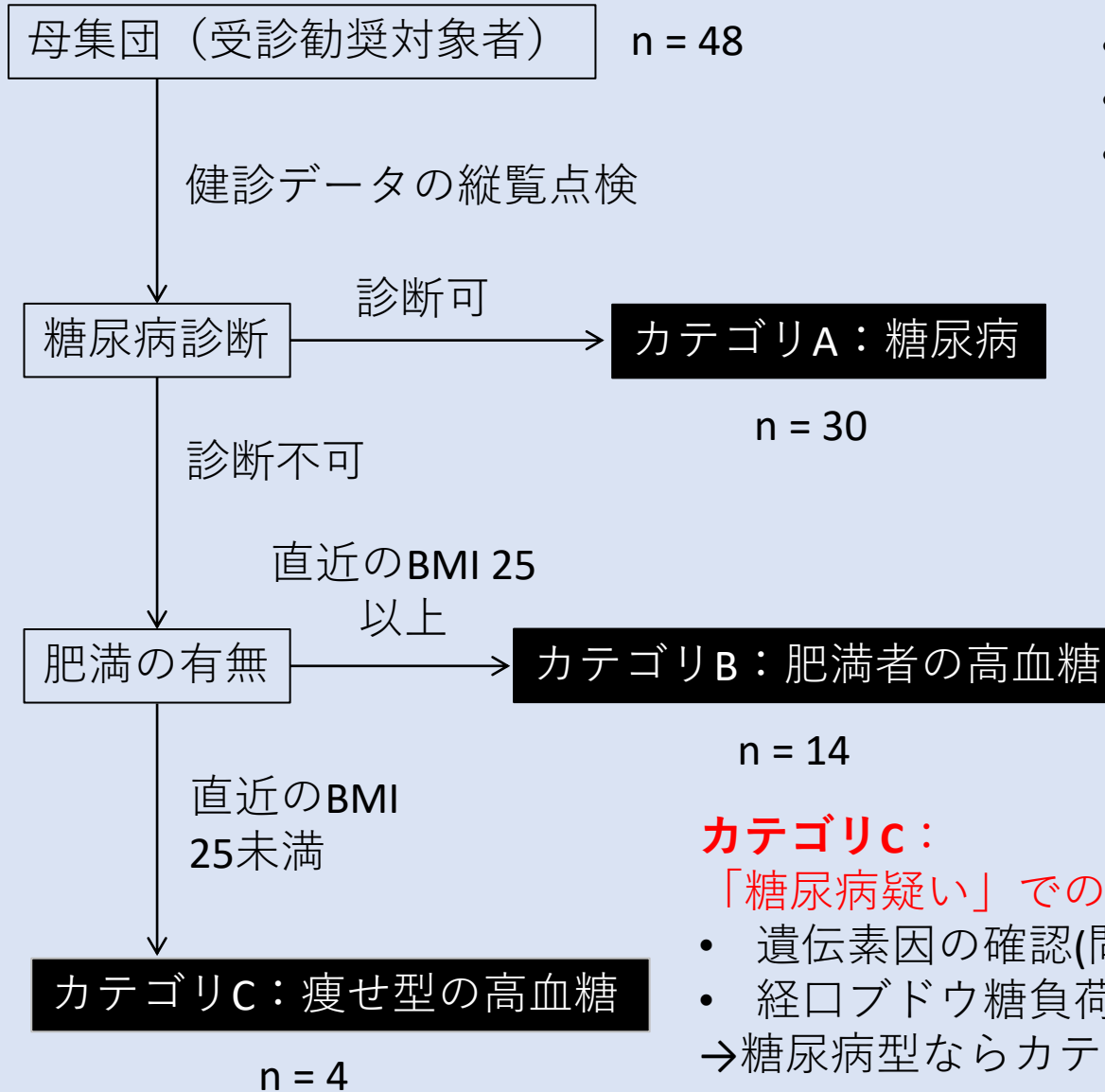
※ がん（疑い含む）を除いた上で、糖尿病関連病名（確定）の有無での年間医療費（健保加入者本人）の比較

高血糖・重症化予防トライアル・プログラム

Ⅱ. 高血糖リスク者の可視化

1. 健保内のレセプトと健診データ(2009年~2023年の15年分)を用いて高血糖リスク者を抽出
抽出条件①：糖尿病薬が未投薬であること
抽出条件②：血糖値(126 mg/dL以上)もしくはHbA1c(6.5 %以上)が受診勧奨水準であること
2. 高血糖リスク者の血糖値、HbA1c、BMIの経年データに基づいて3つのカテゴリに分類
カテゴリA：血糖値、HbA1cの単年データ、もしくは血糖値の経年データから糖尿病の診断が確定する者(糖尿病)
カテゴリB：糖尿病の診断は確定せぬも、肥満症の診断が確定する者(肥満者の高血糖)
カテゴリC：上記のいずれにも該当しない者(痩せ型の高血糖)

Ⅲ. カテゴリ毎の対応



カテゴリA: 「糖尿病」での保険診療

- 発症年齢・罹病期間の確認(健保データ)
- 遺伝素因の確認(問診)
- Cペプチド、膵島関連自己抗体個別検査(採血) ※保険診療
- 糖尿病合併症検査(採尿・眼科受診、他)
→糖尿病治療へ

カテゴリB: 「肥満症」「糖尿病疑い」での保険診療

- 遺伝素因の確認(問診)
- 経口ブドウ糖負荷試験→糖尿病型ならカテゴリAへ
- 栄養指導・運動療法の強化
- BMI 27以上 かつ 高血圧・脂質異常症あり
→ウゴービの適応(学会認定施設への紹介)

カテゴリC: 「糖尿病疑い」での保険診療

- 遺伝素因の確認(問診)
- 経口ブドウ糖負荷試験
→糖尿病型ならカテゴリAへ

高血糖・重症化予防プログラム
 (①は全カテゴリ対象、②③はカテゴリCのみ)
 ①持続血糖モニタリング(CGM) 検査
 ②膵島関連自己抗体スクリーニング
 ③すい臓がん検診(MR胆管膵管撮影)

高血糖・重症化予防トライアル・プログラム

IV. 施策：診療所・健保連動プログラムの提案

- ①血糖変動パターンを把握するための**持続血糖モニタリング(CGM) 検査**
(医療機関への受診促進のための保健事業施策として提供)
- ②糖尿病発症リスクを判定するための**膵島関連自己抗体スクリーニング**
(高血糖の原因を解明するための保健事業施策として提供)
- ③すい臓がんの予防と早期発見のための**MR胆管膵管撮影**
(対象者状況に応じ、保険診療適用)

- トライアルとして検査補助をテコに本店診療所へ高リスク者の診療誘導を図る
⇒提供は本店診療所の指定医で受診した場合に限定する(診察医と連携する事業施策)
- ①は全カテゴリ、②③は原因究明の為にカテゴリCのみ提供
⇒カテゴリAへの②③提供は医療行為との区分け困難。カテゴリBは血糖よりも肥満対策治療が優先であり②③提供の理由付けが困難な為。推移を見て施策内容の変更はあり得る。
- 費用分担：上記記載の通り
⇒③については、健保事業ではなく医師が診療指示した場合は医療費扱い(本人3割負担)となる

高血糖・重症化予防トライアル・プログラム

V. 受診勧奨について

- 今後のフォローアップや本プログラムによる介入効果判定のため、対象者には可能な限り会社診療所での受診に誘導する（CGM等の無償提供は誘導の為のインセンティブとしての意図もあり）
- 医療視点で強く受診を勧め健保による①CGMや②抗体スクリーニング検査の補助についても周知、会社診療所での受診に積極的に誘導する（CGMに興味を持つ者は一定数居ると思われる）
- カテゴリA・B・C夫々で勧奨文面を変え、明確なメッセージ性を持たせ強く受療行動を促す
- 最初は健保より受診勧奨を実施、受診行動を見極めつつ健康管理室からのフォローアップ勧奨の可能性も検討して行きたい

高血糖・重症化予防トライアル・プログラム

VI. プログラム効果のフォローアップ

- プログラム参加者の結果については健康管理室と健保のコラボ体制の中で共有・フォローアップして行く
 - アウトカム①：初回のCGM、膵島関連自己抗体、MR胆管膵管撮影、肥満症診断と治療内容
 - アウトカム②：その後の健診データ(血糖値、HbA1c、BMI)の推移
 - アウトカム③：その後CGMデータ（診療所への通院継続ある場合）
 - アウトカム④：外来・入院レセプト請求額・内容の経時的な推移
- 生活習慣の改善や治療効果の確認を目的に、プログラム参加者には翌年もう1回、CGMの再提供を行う（診療所への通院継続が条件）
- プログラムに参加しなかった者を対照群とし、健保のレセプト情報・あるいは診療所の診療録を継続的にモニタリングする（診療所以外の医療機関で受診した者も捉えて行く）

血糖値を24時間測定可能なCGMセンサーを活用

CGMセンサー
(商品名: FreeStyleリブレ センサー)



センサーは500円玉ほどの
大きさです。



上腕の後ろ側に装着します。



センサーにスマートフォンをかざすと、
血糖値のデータが
「シンクヘルスアプリ」へ転送されます。

CGMセンサーとアプリ「シンクヘルス」を活用した保健指導 血糖値の可視化とリアルタイム介入で参加者へ気づきに繋がる

図：アプリ「シンクヘルス」

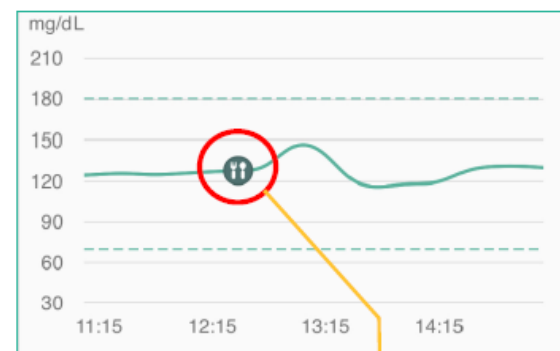


血糖変動との相関関係
が分かります

血糖値の変動
が可視化されます

食物繊維を増やしましょう！
例えば、○○

血糖変動と食事内容を中心にチャットから
担当の療養指導士がアドバイス！



行動変容による変化が
アプリ上で丸わかり
例:前より血糖値の上昇が抑えられている！など

行動変容前

自覚できない血糖変動を
アプリで見える化

介入

血糖変動の原因を見える化

行動変容後

結果の見える化

議案第2号 令和7年度調整保険料率変更に伴う 一般保険料率変更の件

(%)

	一般保険料率	調整保険料率	合計
R6年度	58.25	1.75	60.00
	↓	↓	
R7年度	58.32	1.68	60.00

議案第3号 令和7年度介護保険料率変更の件

(%)

令和6年度	令和7年度	増減
17.4	16.0	▲1.40

議案第4号 組合規程変更/制定/廃止の件

◆健保事業関連

【変更】

- ① システム等運用管理規程
- ② 一部負担還元金支給手続規程
- ③ 付加給付支給手続規程
- ④ インフルエンザ予防接種補給金支給規程

【廃止】

- ⑤ 生活習慣病改善プログラム利用規程

◆健保内部(職員)規程関連

- ⑥ 職員給与規程(別表の変更)

【内規の制定】

- ⑦ 人間ドックオプション等追加補助に関する内規